

高専発！「Society5.0型未来技術人財」育成事業



① GEAR5.0 未来技術の社会実装教育の高度化

趣旨目的

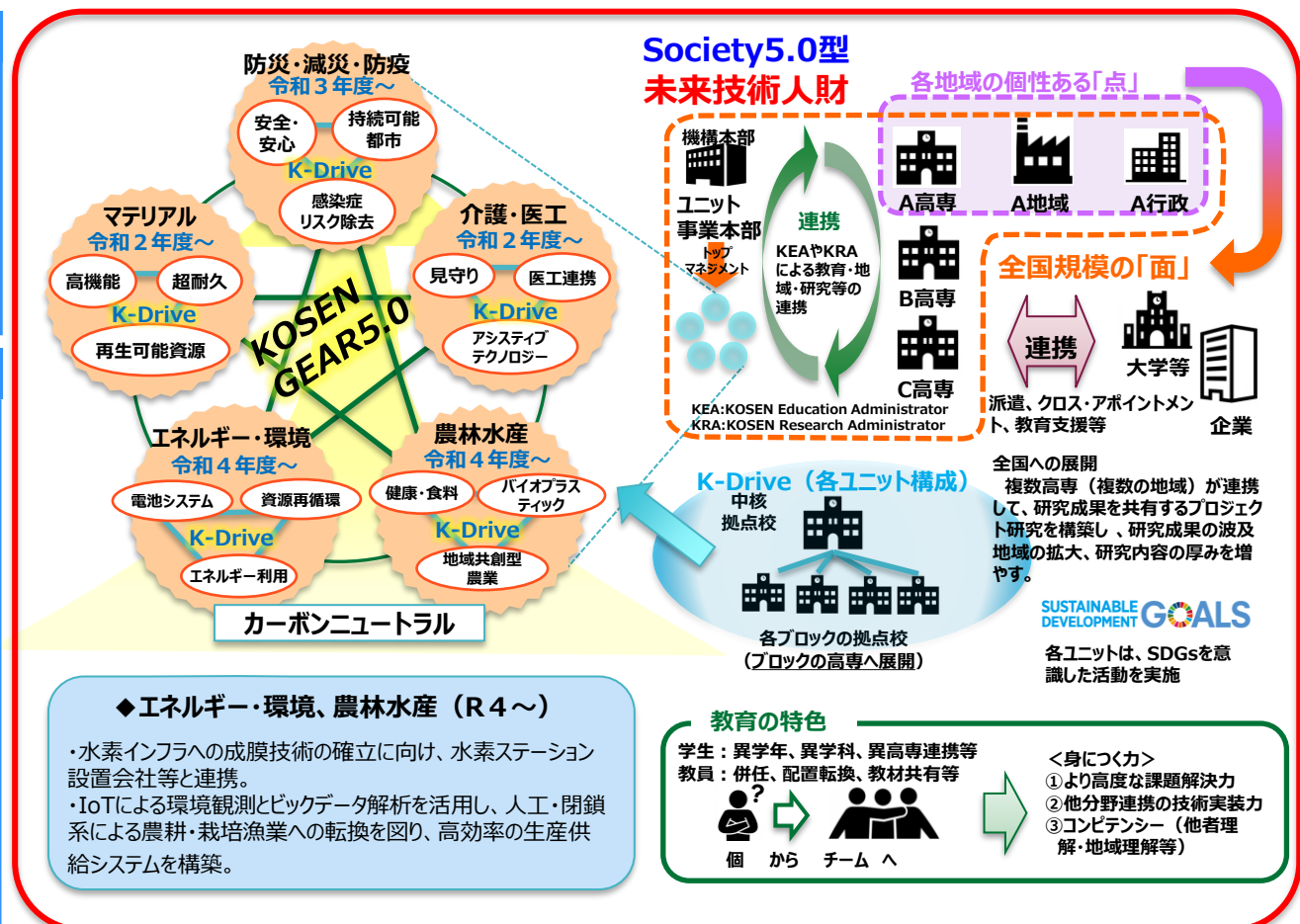
- ▶ 地域密着型・課題解決型・社会実装型など従来型の高専としての特長を活かしつつ、**Society5.0時代の未来技術の中核となる人材育成**という、より大きな経済社会の要請に応えるため、51国立高専=1法人の組織特性を最大限に活かし、法人のトップマネジメントの下、体制の変革を図る。具体的には、**オール国立高専及び広範な企業・自治体・大学等との連携体制という全国規模の「面」（基盤）**としての体制の下、**高専だからこそできる人材育成の質的転換**を図る。
- ▶ **Society5.0により実現する未来技術の時代をリードする、高専発！の未来技術人財育成モデルを開発・展開する。**
- ▶ 特に**2050年カーボンニュートラル**は日本の新たな目標であり、エネルギー産業関連、輸送・製造関連産業及び家庭・オフィス関連産業など成長が期待される産業（14分野）に分野横断的に活躍できるエンジニアが特に必要とされている。

事業特色

1. **クロスオーバー型**：全国51高専=1チームの新たな人材育成モデルを構築
2. **オープン・イノベーション型**：企業、自治体、大学などと幅広く連携
3. **トップマネジメント型**：高専機構が実施体制の構築と事業管理を実施。
4. **高専教育の強みの発揮**：地域密着型・課題解決型・社会実装型手法を活かす。

令和4年度 事業成果 (R2～)

- ◆**マテリアル**
各高専の強みを活かした課題解決スキーム「**抗菌・抗ウイルス・抗バイオフィームプラットフォーム**」を構築。高度設備を利用したインターンシップやミニキャンブ等高専生への高度教育活動を実施。
- ◆**介護・医工**
双腕ロボット、セルフケアロボットなどを開発し、**自治体・病院・企業・特別支援学校とAT連携研究を拡大**。ICTアクセシビリティアドバイザー認定資格試験での高専生の合格率向上教育を実践。
- ◆**防災・減災・防疫**
ZEHやEMS構想の実現に向け**各高専の先端技術を融合し、社会実装研究する拠点整備を進める**。「**ヒト介入試験**」を行うことができるプラットフォームが完成。**オール国立高専の強みを活かして全国から生物資源等の収集を行い、「ライフサイエンスの拠点」を構築する**。また、**全国高専の教職員や専攻科生等のトレーニングセンター**としても活用。



② COMPASS5.0による“次世代基盤技術教育のカリキュラム化”と接続